

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009.1/1
Vol.

7

ガバナー月信

2008～2009年度 国際ロータリー第2650地区テーマ「次の世代にときめきを」



目次 ● CONTENTS

ガバナーメッセージ.....	2
新春特別寄稿 バストガバナー千玄室氏.....	3
1月の月間テーマ.....	4
ガバナー補佐随想.....	5
公式訪問写真館.....	6-11
ガバナー補佐随想.....	12
幹事報告・11月の会員の動き.....	13
11月会員数の増減および出席率表.....	14
地区大会PR.....	15
ロゴマーク・HPの紹介.....	16





「新年を迎えて」

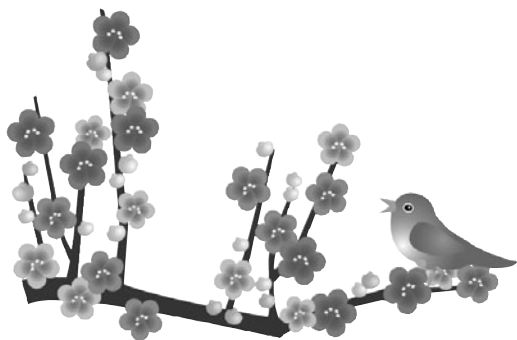
川 端 五兵衛

国際ロータリー 2650 地区のロータリアン、ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には清々しい新年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年 7 月、ガバナー就任早々から、地区クラブ訪問が始まり、去る 12 月 17 日近江八幡ロータリークラブを最後に 96 クラブ全て無事に終えることができました。その間、それぞれのクラブの歩みや歴史が様々な奉仕活動に反映されていることなどを知り、私自身多くのことを学ばせていただいた訪問でした。また、ガバナー補佐をはじめ、会長、幹事、クラブの皆様にはいろいろお世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、「ロータリーとまちづくり」については IM でもお取り扱いいただき、地域住民のロータリーに対する理解をより深めると共に、「生涯をここで終えてもよいと思えるようなまち」を目指し、地域社会にロータリーの輪を広げることに一歩前進していただくことができました。

ところで、「いいまち」とは何をもっていうのでしょうか。私は市長時代の平成 12 年、この疑問に答えるため、市内のまちづくり団体やボランティア活動に取り組んでおられる市民の方々にお願いをし、「いいまちをつくる懇話会」をつくり、「いいまちの基準」づくりに取り組んだことがありました。



その結果、いいまちの基準とはについて、次のような意見が出されました。

- 1 単に「都市のインフラや住み心地の良さによるものではなく、自らのまちを愛し、その発展のためには、わが身を省みることなく尽くそうとする人たちがどのくらい住んでいるのかその割合による。
- 2 このまちで住みたい、このまちで生涯を終えたいと思えるまち。
- 3 若い人たちがこのまちに育って、将来自分は社会に貢献ができるような人になりたいと考える人が、子供たちが育っていくこと。

などでありました。

そして、そのような環境を提供するのが私たち市民の任務であると結論付けたのでした。

それ以来、いいまちの基準とは何かと聞かれたとき、必ず自分の住んでいるまちを愛している住民がどのくらいの割合（率）でいるのかと、その割合（率）の高さによると答えてまいりました。自分にまちが何をしてくれるのかと要求するのではなく、自分がこのまちのために何ができるかを常に心がけるということでもあります。このことにつきましては、今般ガバナーとして訪問の際にもいくつかのクラブでいいまちの基準について触れたところです。

ところで、ロータリーの活動は、例会出席を通して会員間の親睦にはじまり、身近な職業奉仕、地域社会を対象にした奉仕活動へ、更には国際的な奉仕プロジェクトへと進展し、究極的な目的である平和な世界を築くために貢献して 100 年余の歴史を刻んでまいりました。

今後におきましても、クラブの更なる活動の充実と国際ロータリー第 2650 地区の拡大発展に向けて、前進しましょう。



「地球に感謝 奉仕の心」

RI 元理事
ロータリー財団元トラステイ
ロータリー日本財団会長
第 2650 地区 特別顧問

千 玄 室
(京都 RC)

最近素晴らしい思いをしたのが、アブダビ訪問であった。私の 50 年近くの海外渡航の中で最も気心が合った地の一つになった。それはドバイ・アジュマーン他 7 ヶ国の首長国が一つになって生れたアラブ首長国連邦の首都である。

砂漠が国土の殆どを占め、アラビア半島と 2 本の橋によって結ばれた島でもある。砂漠のみであった所も、前大統領故ザイド氏の長年の徹底した緑化政策のおかげで緑の砂漠に変化している。その地へ、お茶の緑をもって乗りこんだ。

この度は、首長国連邦のシェイク・モハメッド皇太子殿下の御招請での訪問である。お手厚いおもてなしに加え、何から何まで皇太子殿下のご指図のもと、茶会や大学での講義、その他の催しをすべて滞りなく済ませることができた、日本文化の紹介と文化交流に少しでも貢献できたものと思う。

私はいつもお茶について次のように説明する。「一盃のお茶碗は小さなお茶碗だが、丸い型を地球だと考え思っしてほしい。そして、その中に点てられた緑のお茶は、地球上に住みながらお互いに争い、開発の名のもとに緑の森を切り開き、地球温暖化の原因をつくった人間のエゴを反省させるためのものである。」

「人間は地球に感謝をし大切に作る心をもってほしい。その為にも一盃のお茶を押しいただいて、すすめ合って、感謝するのである。」と。それを聞いた人々が茶道という日本の伝統文化を理解してくださるのである。

日本人は茶道に対し、窮屈だとか礼儀作法がうるさいと近づこうとせず、理解しようとしめない。しかし、世界の心ある人々は、私の茶の話を聞いて、どんな地位にある方でも一盃のお茶を押しいただき、すすめ合い、微笑みをたたえて、人類の幸せを願ってくださる。こうした茶の心の真価により平和が生まれると信じていただいたことは、有り難い思いでいっぱいである。

ロータリーのメンバーが、奉仕の心を養うためにも、人を思い・いたわり合い・仕え合っていこうとする人間性を学ばなければ、奉仕も言葉の上のものとなって終わってしまう。私はロータリアンが一盃のお茶をすすめ合い、感謝をもっていただくことを日常にさせていただいたなら、もっと真実の奉仕の心に接することができるのではないかと申したいのである。

ロータリーの奉仕の理念は「23-34」という職業についての教示がある。1923 年に定められたもので、自分の職業を天職 (VOCATIONAL) と認め、その職業を通じて他の人のために手を貸す、いわば自分をもって行う奉仕行為を指している。それが “He Profits most who serves best” もっともよく奉仕を行う者に報いがある、というロータリーテーマにとりあげられた。“Service above Self” と共に。

さて、アブダビ始めサウジアラビアの国は回教イスラム教であり、このイスラム教では、自分が恵まれておればその恵まれたものを自分より困っている人に施すことが当然とされている。だから、他の人に奉仕をして報いがあるなどと考えるのはとんでもない話である。彼の国々にロータリーが生れないのもそうした教義があるからで、イスラム圏でロータリーの存在する一部の国から “He Profits most who serves best” という言葉は消してほしいと申し出が RI にあった。たまたま私が理事で出ていた頃 (1998 年) である。

規定審議会でも取り上げられ論議されたあと、一応このテーマは置くとしても、“Service above Self” を主としようということになった。それ以来「23-34」の規定も現在見直しをされている。職業理念があやふやな解釈になってくると、ロータリーの奉仕の哲学が変わるようになるかもしれない。個人の奉仕か集団の奉仕かと論議されるが、ロータリーに入れるのも個人が職業という天職をもって代表と認められるからである。従って個人が自分の職業を通じて他に奉仕行為をなすことは当然であるが、その他に対する奉仕は個人では中々出来難いことである。それをクラブに提唱して会員一同、力を合わせて良き奉仕を実施する。そこに真の奉仕が生れる。だから根本的には個人が奉仕の理念を理解し、それを何等かの形で体現し、社会に示す努力をしなければロータリーの価値は失われてしまう。

ロータリーの未来のためにも、ロータリーの真の奉仕の理念を高めていかなければならない時期にきていることを認識していただきたい。

組織が大きくなった故と、真のロータリーの在り方を認識しないロータリーメンバー (真のロータリアンでなく) が増えてきた。だからこそロータリーに善意の奉仕の波が打寄せるように、もっともっと努力すべき時期になったと私は思っている。



“正夢からときめきへ”

ロータリー情報委員会

委員長 奥村 照夫
(京都八幡RC)

新年あけましておめでとうございます。1月は理解推進月間です。前期を振り返り後期に向かって今一度足元を見据え前進する月間です。年間活動について奉仕と親睦の歯車がうまく噛み合いバランスよく動いているか検討して頂ければと思います。今回このように月信に寄稿の機会を得ました。

シカゴに端を発したロータリー。貧しさゆえの人心荒廃から100有余年、豊かさの限りなき追求の金融危機、その間、中味は異えども歴史は幾度も繰り返しています。弱肉強食、権力争いは日々のごとし。世界平和の道程は遠く、ロータリーの長年のテーマであります飢餓、貧困、識字率もまだ収まらず、目を覆うばかりです。近年多岐にわたる生々しい情報が瞬時に茶の間に飛び込んできます。この非情悲惨な現状を見るにつけ目頭が熱くなりスイッチを切りたくなります。このような世界が存在する中、時間共有のこの瞬間この差異は同じ人間として憤懣を覚え遺憾しがたいことであります。一人でも偉大な力を発揮出来ますがロータリアンが知恵と行動をもって団結の輪を生みだせば強固な和になるものです。世界に誇るロータリー。LAの世界大会でのあの握手と笑顔、友好と平和が会場に漲っていました。それぞれ国、あらゆる環境は異えども自国で奉仕の礎を元に実践活動すれば世界のロータリーの輪は大きく広がり平和の為に強力な歯車となって未来に向かって前進するのではないのでしょうか。

それにはまず“隗より始めよ”当地区は国内は疎か世界でも名の知れた地区です。絆からおもいやりそれを踏まえて“次世代へのときめき”大きな輪に熱い奉仕の心を吹き込み世界平和を願い力の結集を。それは2650地区5000有余人のロータリアンの1サーブから始まります。新年にこのようなグローバルな夢を抱くのも楽しいものですが夢を形に正夢になればと心より願いたいものです。それを未来に引継ぐことが望まれます。

当委員会の責務はIM単位の委員長会議、京都は二班に分け六回開催。アンケートの要請と冊子作成。クラブへの卓話。地区大会での“新会員の集い”等の活動をもって情報交換ロータリーの啓蒙に努めています。クラブ情報委員会は家屋の基礎のようであります。見えない所でクラブをガッチリ支え指導や苦言を呈し、よりよい方向

へ導く使命を担っています。クラブの動きを見定め、秘めたエネルギーで活力を与え発展に寄与するクラブの要であります。だからこそ遣り甲斐のある委員会であり活動が活発なクラブは運営も確かで活力があると言われていきます。委員長会議でよく出る話題は“増強と退会”“質と量”“誇りと満足度”“地域社会への存在感”等行き着くところは魅力であります。

クラブに魅力? いやロータリアンに魅力がなければロータリーは輝きません。時々ロータリーは面白くない期待外れだと言われる方がいます。それは思い違いです。ロータリーは友達クラブ、昼飯クラブでもありません。入会時の気持を忘れず厳しさあつてのロータリーです。例会では笑顔と思いやり、特に新入会員には先輩の一声が嬉しいとの情報です。

奉仕と親睦、この両輪はロータリーの特権でありバランスが重要視され楽しみが求められます。しかしロータリーは楽しくしてくれませんか。それは我々が明るく楽しく振るまうことから始まりその集団がクラブであります。甘さから来る楽しみは真の楽しみでなく長続きしません。飽きが来てヤル気が失せ修養や勉強の場でも無くなります。自分には厳しく目標を持ち挑戦することです。忙しさの中での奉仕活動に参加。感動と喜びを味わうことが出来ます。その喜び分かちあえば太い絆が生まれ笑顔と感謝から来る内なる幸せはクラブに活力を与え発展させます。

ロータリーは出席を重要視します。そこには出会いがあり人を育て貴重な情報を得ることが出来ます。その情報を友人知人に伝えるのも大切な奉仕でありその繰り返しが増強、広報に継がり地域社会へロータリーを知らしめる手段となります。ロータリーには卒業も満点もありません。細く長く余裕をもって活動。しかしこころ一番となれば無理をしてでも程を越すそれが施しになります。夫婦や友人でも然り、付かず離れず難しいことですが継続出来ていれば仕合せ。その縮図がロータリーかも知れません。健康、家族、仕事。もうひとつポリオプラスではありませんが出来る奉仕に感謝したいものです。若さは心の持ち方で決まります。ロータリアンはヤングマンです。夢を正夢に次世代にとときめきを贈りましょう。それは貴方の心に秘めた奉仕の一步から始まります。



「東大寺二月堂の修二会雑談」

ガバナー補佐
松岡 泰夫
(奈良 RC)

何年前から続いているのか、多分何百年も前からと思いますが、奈良の朝は東大寺二月堂の鐘の音で1日が始まります。季節によって少し時間は変わりますが、その鐘の音は日の出少し前の時間です。私の家が奈良公園の中にありますので朝の散歩の途中で鐘の音を聞いています。

二月堂の鐘は小さな釣鐘でお堂の中にあるのですが、鐘の姿に似合わず、重厚かつ荘厳な音色で気持ちを引き締めてくれます。

二月堂は奈良盆地の東の丘陵端の斜面に懸崖造りのお堂(国宝建築)が建っています。二月堂の回廊より見下ろす奈良の町の眺めは千三百年の歴史を目前にした絶景であります。特に朝日に輝く大仏殿の薨と大屋根の「鴟尾」の金色のきらめきは現世ばなれした感動を与えてくれます。

松尾芭蕉の句に、

水取りや こもりの僧の 沓の音

この句にあります二月堂は「お水取り」の行事が行われるお寺です。一般にお水取りと言われます「修二会」の行は東大寺が創建された七百五十二年より、途切れる事なく続けられた東大寺で一番重要な法要です。

一般には三月十二日夜半に行われます「お水取り」が有名になっていますが、本業の修二会は三月一日より十四日迄行われている行のお水取りは一部分です。お水取り同様有名なお松明は修二会の行に参加する僧(練行衆)を僧坊より二月堂本堂までみちびく明りとして用意され、僧が本堂へ入堂したあと本堂前の欄干よりあかあかと燃える大松明を参拝者の頭上で御祓の意味もあり大きく打ちふられます。参拝者は落ちてくる燃えがらを一年間のお守りとして取り合います。

お水取りの水～お香水～は二月堂前にある「閼伽井屋」(あかいや)十二日の夜半井戸より汲み上げますが、その

作法は佛式と神式が合体した不思議な行法であります。お水取りに汲み上げられるお香水は若狭の国鶺ノ瀬より、その日に限り送られてくると言われその靈験は万病に効くと信じられています。

この話の中で奈良と若狭の国の関係が出てまいりましたが、東大寺創建の僧良弁大僧正との関係があるように思われます。良弁は乳児のころ若狭の国で母が田仕事中に畦道に寝かされていた時大きな鷲が現れこの児をさらって飛んで行きました。その児が二月堂前の大杉の上に置いてあったという伝説があります。この児が成長して僧良弁となり東大寺創建の良弁大僧正となったというそうです。なおこの杉は現在良弁杉として残っています。

修二会の本行に参加する僧は練行衆と呼ばれ精進潔斎に努めるとともに行のために火打ち石でつくられた火のほかは世間の火は一切用いない別火と呼ばれる行を行います。修二会の厳しい行を終えたあと東大寺の僧は総国分寺として責任と自覚も新たに国家鎮護の使命に邁進します。

お水取りの行事が終わりますと古都奈良は春を迎えます。





京都東



長浜



大津



京都



福井



檀原



亀岡



奈良



鯖江



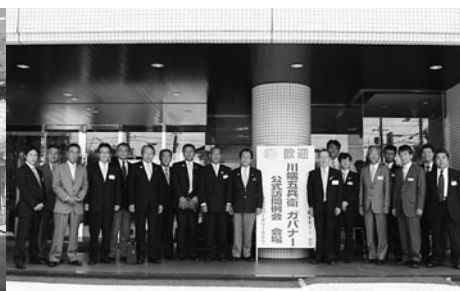
京都東山



敦賀



草津



東近江



京都西



京都洛中

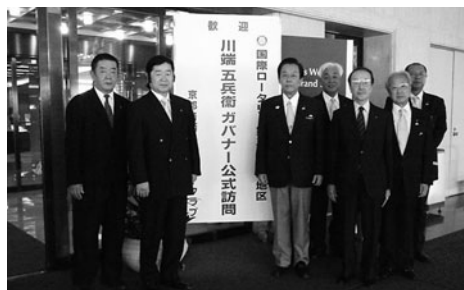


福井北

公式訪問写真館



京都南



京都洛西



京都西南



京都山城



京都北



京都市陽



福井東



大和高田



奈良大宮



五條



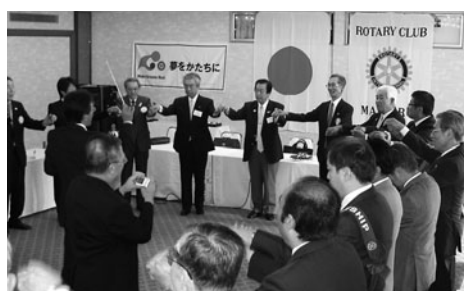
彦根



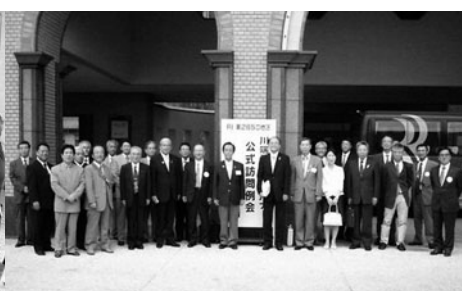
亀岡中央



京都紫野



舞鶴



大津東



福知山



京都乙訓



大和郡山



武生



大津西



綾部



野洲



桜井



舞鶴東



京都伏見



宮津



園部



奈良西



守山



敦賀西



生駒



峰山



長浜東



福井南



福井フェニックス



丸岡



京都洛北



五個荘能登川



若狭



高島



武生府中



福井水仙



福井あじさい



水口



京都西北



京都モーニング



京都西山



京都市中



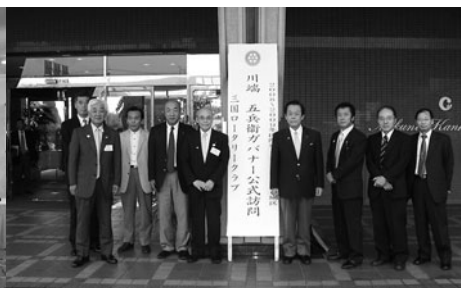
京都八幡



栗東



平城京



三国



勝山



鯖江北



京都洛東



福井西



宇治



京都田辺



大津中央



京都平安



彦根南



京都北東



びわ湖八幡



大津唐橋



京都紫竹



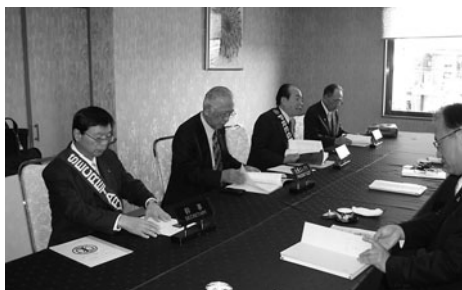
王寺



奈良東



あすか



福知山西南



京都朱雀



京都桂川



京都さくら



大野



京都洛南



京都嵯峨野



宇治鳳凰



滋賀湖北



八日市南



湖南



近江八幡



「ガバナー補佐 半年間の感想」

ガバナー補佐

徳田 定弘
(大津 RC)

川端ガバナー年度も6ヶ月が過ぎようとしている。この間、初めてガバナー補佐という立場から地区の諸活動を観察し、感じた事を述べさせていただきたい。今日までGSEおよび国際交流地区委員長として8年間歴代ガバナー下で奉仕活動をさせていただきガバナーの職務の大変さを多少は理解しているつもりであったが、この度、直接ガバナーのお伴をして公式訪問に随行し改めてその任務の劇烈さに震撼した。年度が始まって7月、8月の猛暑の中、連日各クラブを訪問されるガバナーの姿を真近で拝見した。JR駅の階段を黙々と登りながらじっと耐えて任務を果たしておられる川端ガバナーの姿勢は私の目にはゴルゴダの岡を民衆の為に自分を犠牲にして十字架を背負って歩くキリスト様の姿と重複して映った。ロータリーという十字架を背負ってすべてを超我の奉仕の精神で実践されているのだ、と感謝と畏敬の念でいっぱいになった。人道的活動を謳っているはずのロータリークラブがもっとも非人道的使命をガバナー御一人に課してしまっている現状が果たしてこのままで好いのだろうか？思わず自問してしまった。歴代のガバナーの方々にパス

トガバナーになられてから健康を害される方もおられるが、ガバナー経験者という地区でただ一人の貴重な存在を活かす為にも幾つかのクラブで話題として提出された数クラブ合同で公式訪問を受ける、と言う考えを実行に移すべき時に来ているのではないかと？

仮に3クラブずつ合同公式訪問を実践すれば $96 \div 3 = 32$ 32回の訪問で済む。訪問時の例会、クラブ協議会の運営方法など技術的な問題があるがこれさえ解決できれば早急に実現するべきだと考えます。聞く所によれば他地区ではすでにこの様な方法を採用しておられるようです。実施に向けて特別な検討研究チームを地区で作ってはいかがでしょうか？

私個人としてはこの半年の間、果たしてガバナーの補佐ができたのかどうか？忸怩たる思いであるが公式訪問で多くの事を学び、また会員数減少などの悪条件のなかで立派にロータリーの精神を理解し健闘しておられる訪問先のクラブの皆様に感動し、新たにロータリーの素晴らしさを教えていただいた気持ちである。感謝！



第100回 国際大会を 祝おう

www.rotary.org


幹事報告

職業奉仕講演会

日 時：2009年1月24日(土)13:30~16:00
 演 題：「職業奉仕の根本原理とその実践 パート2」
 講 師：RI第2680地区パストガバナー 深川 純一氏
 会 場：京都テルサ テルサホール

ロータリーアクト4地区合同情報交換交流会

テーマ：「Heart 4 you ~まずはここから~」
 日 時：2009年1月25日(日)13:00~17:00
 会 場：からすま京都ホテル

第2回奉仕プロジェクト部門新世代担当者会議

日 時：2009年1月31日(土)14:00~16:45
 場 所：京都全日空ホテル

2009~2010年度第1回地区委員長連絡会議

日 時：2009年1月31日(土)13:30~
 場 所：京都ホテルオークラ

会員増強拡大委員会後期地域別会議

京都南部第1グループ

日 時：2009年1月31日(土)14:00~16:00
 場 所：けいはんなプラザ

会員増強拡大委員会後期地域別会議

京都南部第2グループ

日 時：2009年2月1日(日)14:00~16:00
 場 所：メルパルク京都

会員の動き

◆新入会員

福井東	宮城 始	神道
福井東	志田 勝治	建設業
福 井	黄瀬 雅博	贈答品販売
福井北	井澤 茂	産業機械配布
福井北	菅原 隆典	都市ホテル
福井西	吉川 忠博	社会保険労務士
大津西	白波瀬 勝治	包装資材卸

彦根南	後藤 道博	交通安全施設
京都洛中	加福 高聖	電信電話事業
京都北東	角 宗広	茶道
京都北東	西川 博通	食材商社
京都紫野	岩谷 泰輔	工芸家具製造販売
桜 井	小椋 十四彦	木材販売

文庫通信

ロータリー文庫は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より(3) (253号)

- ◎「ロータリーのサービス・コンセプトについて考えよう」 ◎「CLPを理解しよう」 成川守彦 2007 5p (D.2670IM 報告書)
 松宮 剛 2007 9p (D.2500 地区大会報告書) ◎「ネパールの医療活動について」
 ◎「ロータリーの心と原点を大切にしよう」 伊藤公夫 2008 3p (D.2540 地区大会記録)
 廣畑富雄 2006 10p (D.2700 地区大会記録) ◎「松枯れ防止活動」 那波宗久 2008 3p (D.2540 地区大会記録)
 ◎「ロータリーの原点」 成川守彦 2006 5p (D.2700 地区大会記録) ◎「ロータリーの初期の人ターシェルドン・コリンズ・ベア・ラグルス・
 ◎「教育という大業」 佐藤千壽 2008 12p (D.2670 地区大会記録) デイビッドソン 三木 明訳 2007 13p (D.2680 月信)
 ◎「ロータリー財団活動の成果～世界平和への貢献(シンポジウム)」 ◎「五つの課題への協力(クラブ会長就任演説)」 ガイ・ガンディカー
 内藤幸彦 他 2008 4p (D.2590 地区大会の記録特集号) 田中 毅訳 ― 4p (ロータリーの源流から)

ロータリー文庫

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

2008年11月会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
綾部	38	0	0	38	39	0	1	4	93.09	0
福知山	60	0	1	59	58	3	2	4	92.01	0
福知山西南	46	0	0	46	46	0	0	4	94.34	1
亀岡	41	0	0	41	40	1	0	4	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	16	1	0	4	98.44	1
京都	204	0	1	203	194	12	3	4	97.27	0
京都伏見	92	0	0	92	91	4	3	4	85.55	3
京都平安	35	0	2	33	35	0	2	2	77.14	4
京都東	110	0	0	110	109	1	0	4	96.52	0
京都北東	33	2	0	35	32	3	0	4	90.64	0
京都市場	33	0	0	33	30	3	0	4	92.84	0
京都桂川	36	0	0	36	36	1	1	3	92.07	0
京都北	71	0	0	71	69	2	0	4	95.86	0
京都南	226	0	1	225	223	4	2	4	96.75	0
京都エニックス	55	0	0	55	54	1	0	4	73.11	3
京都紫野	62	1	0	63	61	3	0	2	100.00	0
京都中	40	0	0	40	40	0	0	2	100.00	0
京都西	112	0	0	112	110	2	0	2	100.00	0
京都西山	21	0	0	21	22	0	1	4	90.99	0
京都乙訓	35	0	1	34	35	0	1	4	95.43	0
京都洛中	78	1	0	79	78	2	1	4	98.02	0
京都洛北	71	0	0	71	69	2	0	4	90.38	0
京都洛南	38	0	0	38	38	0	0	4	99.27	1
京都洛西	52	0	0	52	50	2	0	4	91.10	5
京都洛東	38	0	0	38	38	0	0	4	91.45	0
京都さくら	34	0	1	33	31	3	1	4	99.22	6
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	4	77.88	0
京都西北	50	0	0	50	50	1	1	3	90.89	0
京都西南	58	0	0	58	61	0	3	4	96.92	7
京都紫竹	47	0	0	47	47	0	0	4	71.82	2
京都朱雀	42	0	0	42	42	0	0	4	92.19	1
京都田辺	24	0	0	24	24	0	0	4	89.13	2
京都東山	79	0	0	79	81	1	3	4	98.94	0
京都山城	40	0	0	40	41	0	1	4	95.90	0
京都八幡	29	0	0	29	30	0	1	4	88.00	1
舞鶴	29	0	0	29	30	0	1	4	95.10	0
舞鶴東	49	0	0	49	48	1	0	4	83.93	0
峰山	39	0	0	39	38	1	0	4	80.00	2
宮津	49	0	1	48	48	3	1	4	88.04	0
園部	30	0	1	29	30	0	1	4	97.32	0
宇治	40	0	0	40	41	2	1	4	98.04	0
宇治鳳凰	44	0	0	44	44	0	0	4	91.13	5
小 計	2,354	4	9	2,349	2,326	59	31	平均 3.8	平均 92.06	44

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
五條	36	0	0	36	36	0	0	4	89.88	0
平城京	37	0	0	37	37	0	0	4	93.63	0
生駒	38	0	0	38	38	0	0	4	76.61	0
橿原	77	0	0	77	74	3	0	4	78.28	3
あすか	54	0	0	54	55	1	1	4	97.57	0
奈良	145	0	0	145	141	4	0	4	96.26	4
奈良東	46	0	0	46	45	1	0	4	96.02	0
奈良西	48	0	1	47	49	1	2	4	95.21	1
奈良大宮	67	0	0	67	65	2	0	4	92.48	0
王寺	25	0	0	25	26	0	1	4	94.83	2
桜井	49	1	0	50	50	2	1	3	85.44	0
大和郡山	51	0	0	51	51	1	1	2	93.00	0
大和高田	96	0	1	95	98	4	4	4	90.69	2
小 計	769	1	2	768	765	19	10	平均 3.8	平均 90.76	12

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
福井	130	1	0	131	128	6	3	4	59.58	5
福井あじさい	48	0	0	48	47	2	1	4	77.33	4
福井東	35	2	0	37	36	3	1	2	84.23	3
福井北	119	2	0	121	120	3	2	3	86.37	5
福井南	64	0	0	64	64	0	0	4	77.74	0
福井西	41	1	0	42	42	2	2	3	84.26	0
福井フェニックス	49	0	0	49	49	0	0	4	77.04	10
福井水仙	22	0	0	22	23	0	1	4	65.91	1
勝山	27	0	0	27	27	0	0	4	82.68	2
丸岡	36	0	0	36	34	2	0	4	87.14	0
三国	46	0	0	46	43	3	0	4	79.44	2
大野	25	0	0	25	25	0	0	4	83.55	2
鯖江	50	0	0	50	50	0	0	4	87.15	1
鯖江北	23	0	0	23	23	1	1	4	76.58	0
武生	64	0	1	63	63	1	1	4	79.82	2
武生府中	37	0	0	37	38	0	1	4	91.89	0
敦賀	47	0	0	47	46	2	1	4	83.39	0
敦賀西	21	0	0	21	24	0	3	2	83.33	2
若狭	34	0	1	33	32	2	1	4	100.00	0
小 計	918	6	2	922	914	27	18	平均 3.7	平均 81.44	39

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	50	0	1	49	50	0	1	4	87.16	1
五個荘能登川	25	0	0	25	22	3	0	2	77.08	0
彦根	73	0	0	73	70	5	2	4	90.77	2
彦根南	66	1	0	67	66	2	0	4	95.41	0
湖南	37	0	1	36	37	1	1	4	90.05	1
草津	44	0	0	44	44	0	0	4	86.60	0
水口	46	0	0	46	49	0	3	4	96.82	1
守山	45	0	0	45	44	1	0	4	90.00	0
長浜	60	0	0	60	58	3	1	2	94.55	0
長浜東	67	0	0	67	65	2	0	4	95.74	0
大津	114	0	0	114	110	9	3	4	100.00	1
大津中央	35	0	0	35	35	1	1	4	82.35	1
大津東	25	0	0	25	24	1	0	4	72.89	1
大津唐橋	24	0	0	24	23	1	0	4	73.64	1
大津西	25	1	0	26	24	2	0	4	96.64	0
近江八幡	67	0	0	67	67	0	0	4	86.62	2
栗東	36	0	0	36	36	1	1	4	84.03	3
滋賀湖北	26	0	0	26	23	4	1	4	85.58	0
高島	42	0	0	42	42	1	1	4	97.06	1
野洲	41	0	0	41	37	5	1	4	81.66	1
東近江	56	0	0	56	56	3	3	4	80.55	0
八日市南	54	0	0	54	55	1	2	4	89.26	2
小 計	1,058	2	2	1,058	1,037	46	21	平均 3.8	平均 87.93	18

合計 (96クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
合 計	5,099	13	15	5,097	5,042	151	80	平均 3.8	平均 88.84	113

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、11月会員数および入退会者累計数は、11月末日現在です。
- ・今年度の「期首会員数」は、平成20年7月1日現在の会員数です。

2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ
夢をかたちに



2008～2009年度
RI 第2650地区テーマ
次の世代にときめきを



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2008-2009年度

地区大会

大会テーマ「^{つい}終の^{すみか}栖のまちづくり」

2009年
(平成21年) **4月11日[土]・12日[日]**

会場：大津プリンスホテル (滋賀・大津市)

ガバナー：川端 五兵衛
Gohee Kawabata



もりや かつひさ
森谷 尅久氏

武庫川女子大学教授
専門は中・近世史
京都市文化財保護審議会委員
京都市文化財保護審議会文化財専門委員
著書に「花」が語る日本史(河出書房新社)
他多数

基調講演 講師：森谷 尅久氏
『歴史に根ざしたまちづくり』



特別講演
滋賀県知事 嘉田 由紀子氏

地区大会ホスト
近江八幡ロータリークラブ
地区大会コ・ホスト
守山ロータリークラブ
五個荘・能登川ロータリークラブ
びわ湖八幡ロータリークラブ



2008～2009 年度国際ロータリー第 2650 地区テーマ 「次の世代にときめきを」

●シンボルマーク紹介

RI2650 地区の四つのエリア京都府・奈良県・福井県・滋賀県が 次の世代にときめきを残すためには基礎となる土台が必要です。ロータリーの四大奉仕部門、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を「心を持った一つの土台」と考え、協力・平和・柔軟性・思いやりの四つの観点から 4 色のイメージカラーで表現しました。

シンボルマークデザイン 鈴木大義

2650地区の情報満載! <http://www.rid2650.gr.jp/>
～08-09年度地区ホームページ～

国際ロータリー第 2650 地区のホームページをご覧になっていただけたでしょうか。

08-09 年度のホームページが公開されています。

地区の概要・組織、地区内クラブ、年間行事予定、例会変更情報、ダウンロードセンター等々、ロータリーの様々な情報を公開しておりますので是非ご覧下さいませ。

また 07-08 年度に引き続き、「月信α(アルファ)」のサイトも新しく開設いたしました。各クラブ公式訪問の報告や委員会報告、各会議報告等も随時更新し地区内の情報を皆様に公開させていただきます。また、クラブ奉仕活動等も公開させていただきますので、原稿・記事・写真の投稿をお待ちしております。

原稿・写真はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

広報・月信地区幹事 一伊達(事務局 筑摩)まで



<表紙によせて>

夢をかきたてるロマン、「ときめき」の対象であるロマンをきらめくハートで表現し、それを求めて幼な子が手さぐりを始めた様子を書くことで次の世代を担う若人が志を立て理想の実現に向ってときめいて行くことへの期待をこめている。

「ときめき」は与えられるものではなく、自ずから湧き出ずるものであり、その源泉を穿つのは他ならぬ自分自身である。

ロータリアンの使命は、次の世代のためにこの源泉が至る処にちりばめられた世界を残すことである。

これこそロータリアンにとって、死に甲斐に値するのではないだろうか。

川端 五兵衛 記

「表紙の制作にあたって」

未来へ向けて成長しようとする子どもの力と、それをあたたかく見守り育てていこうとする親や地域の人々との心のふれあいをやわらかく、あたたかいイメージの中に表現しました。

未来を育てることの大切さというメッセージをみなさまに伝えることができればという思いで、制作させていただきました。

表紙デザイン 小寺 寿



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2008-2009

国際ロータリー第2650地区
2008-2009年度 ガバナー 川端 五兵衛
■ガバナー 事務所
〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町413-5
Tel.0748-31-2650 Fax.0748-31-2651
E-mail:gov08-09.2650@joy.ocn.ne.jp